

東山中学校同窓会準備委員会記録

19年4月7日、総勢26名の参加のもと、同窓会準備に向けた世話役会が行われた。はじめに伏原会長から東山中学校の近況について報告がなされた。

「3月20日に第44回の卒業式が行われた。今年の卒業生は197名で、1期生から44期生までの全卒業生は13,676名になった。また、4月9日には第52回入学式が予定されている」

その後、5期生の重永副会長から50周年記念同窓会に向けた説明が行われた。

「同窓会名簿の整備・確認をしているが、空白になっている期をどうやって埋めようかと思案している。中でも、9期、10期の卒業生の消息判明に難航している。9期生の中で、地元に勤めている卒業生と伏原会長が会ってきたので、分かっている人たちには案内をしたい。インターネットの「ゆびとま」にアクセスしてもらった人の住所は分かったものもあるので案内を出したい。野球部に所属していた卒業生については、名簿をもとにキャプテンだった人に案内をかけていく。6月に案内状の文面を作りたい。したがって、次回の5月12日までには発送総数を把握したい。連絡できる人の人数を確定しなくてはならない。次回はそれぞれの期の名簿を持参してもらいたい。先生方の人数も入れ約4,000名の人に連絡できると思う」

【開催に向けた考えと意向】

- ・収支としては300人以上の参加がボーダーラインと思う。案内を出してどのくらいの返事がくるか。皆の力で誘いをかけていくことが大事である。多くの人に連絡が取れるようにもっていきたい。案内文書はもれのないように修正して作る方向で幹事に任せる。封筒の中に返信ハガキと雅叙園の地図を入れまとめて出すようにする。返信先は東山中学校同窓会とするが、各期の幹事あてにしたい場合は、その期ごとに対応してもらうことになる。会費は当日会場で集めることを原則とする。

(16期生は独自でまとめて集める方針。当日会場で幹事が参加者と会費の照合をする)

- ・住区の掲示板にも案内を出したい。ただし、住民地区センター用の掲示板への掲載期限は2週間なのでそのことを踏まえタイミングを考慮する。
- ・16期生は学校に一度集まり、校内を見学してから雅叙園会場に行くので、許可を伏原会長から学校に打診してもらう。
- ・返信ハガキには卒業期を記入できるようにする。また、注意事項を書き出しておく。
- ・案内は7月に発送し、9月初めに回収する。学校に専用の郵便箱を設置してもらう。
- ・入手できた各部活の名簿を各期ごとに渡すので、卒業名簿と照合してもらいたい。
- ・27期は動ける世話役を特定して欲しい。
- ・先生方の名簿もこれから整理していく。東山会という名称で文^{とうざんかい}先生が世話役になっておられる。先生方のご存命も確認していく。

- ・ プロジェクターで当時の学校写真を映して欲しいという希望もあるが、談話に終始してもらうことでいいのではないか。また、壇上に上がった挨拶も最小限にとどめたい。
- ・ 当日、会場には多少のイスを用意してもらう。
- ・ 出席者の名札は用意する。
- ・ 校歌の斉唱をする。校旗は壁掛け用のものを借用する。

【5月の世話役会でやること】

- ① 案内する人数の確定 ② 部活名簿の情報整理 ③ 案内文のサンプルを披露する

【会合スケジュールの変更】

6月の会合日を当初の9日から **16日**に変更する。

以上